

第48回 神奈川県剣道錬成大会 開催要項 (案)

- 1 目的 青少年武道振興の一環として剣道錬成大会を開催し、平素剣道に精進している県内の青少年が一堂に会して心技を競って剣道の健全な普及発展を図ります
- 2 日時 令和7年8月3日(日)
受付 9:00~9:25
開会式 9:30
- 3 会場 シンコースポーツ神奈川県立武道館
- 4 主催/共催 神奈川県剣道連盟/シンコースポーツ神奈川県立武道館
後援 神奈川新聞社・tvk
- 5 実施要項
- ・チーム編成
- | | |
|----|---------------|
| 先鋒 | 小学生男子 |
| 次鋒 | 小学生女子 |
| 中堅 | 中学生男子 |
| 副将 | 中学生女子 |
| 大将 | 高校生(男女どちらでも可) |
- 各1名で5名の団体 学年は問わず
- ・出場チーム
- ① 剣道連盟支部チーム
 - ② 個人道場チーム
 - ③ クラブ活動をしている団体チーム
- ・各支部3チームまでとするただし①②③はそれぞれ1チームとする
- 6 試合方法
- ・全日本剣道連盟試合審判規則および同細則による
 - ・試合時間は小学生は2分、中学生・高校生は3分、3本勝負とする
 - ・制限時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする
 - ・団体戦の勝敗
- ① 勝者数の多いほうを勝ちとする
 - ② 勝者数が同数の場合は、取得本数の多いほうを勝ちとする
 - ③ 勝者数・得点本数とも同点の場合は代表者戦によって決める
- 代表者は引き分けた選手(引き分けた選手が複数いる場合は上位の選手)が対戦し先に1本を取得したものを勝ちとする
- 代表戦の試合時間は小学生は2分、中学生・高校生は3分とし、小学生は2分、中学生・高校生は3分区切りで勝敗が決するまで継続する
- 7 表彰 優勝、準優勝、3位(2チーム)、敢闘賞(4チーム)

- 8 会場係 横浜市の全18支部から1名ずつ、津久井支部・座間支部から1名ずつお願いします
(チーム出場がなしでも1名必ずお願いします)
- 9 参加料 支部にてとりまとめ、大会参加料1チームあたり2,000円を納入願います
(個人やチームでは申し込みや振込をしないでください)
- 10 申込方法 ・ゆうちょ銀行から振込む場合(通信欄に内訳を記載してください)
口座記号番号 00280-6-145455
口座名称 大会委員会神奈川県剣道連盟
(タイカイイインカイカナガワケンケンドウレンメイ)
・ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込む場合
店名(店番) 029(ゼロニキュウ)店(029)
預金番号 当座 0145455

入金を証明するものと申込書を事務局までメールで申し込みしてください
申込なしの場合でも、なしと記載し、申込書を送付してください
- 11 申込締切日 **令和6年7月4日(金) 12時厳守**
- 12 選手変更 選手変更は大会当日の開会式前までとします
- 13 注意事項 出場者は各チーム名の名札を垂につけてください
チームは3名以上で編成してください
主催者は、医師を配置しますが応急手当以外の責任は負いません
主催者は、傷害保険に加入します(疾病等には適用されません、ご注意ください)
- 14 撮影等 大会における写真・動画の撮影及び音声の録音(以下「ビデオ撮影等」という。)並び
に撮影した映像及び録音した音声(以下「撮影映像等」という。)の取扱いについて
は、次のとおりとします
・主催者は大会のビデオ撮影等並びに撮影映像等を大会ホームページ上に掲載することがあります

・大会の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止します。ただし、主催者から許諾を得て行う場合はこの限りありません

・大会の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること

・大会の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、主催者から許諾を得て行う場合はこの限りではありません

以上

【剣道用具の取り扱いについて】

大会・予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする

(1)竹刀については次の事項を遵守すること

- 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする
- ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない

(2)小手については次の事項を遵守すること

- 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある
- 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である

(3)面については次の事項を遵守すること

- 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする

(4)剣道着については次の事項を遵守すること

- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の基準 (一刀の場合)

対 象		中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下
重さ	男 性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女 性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上

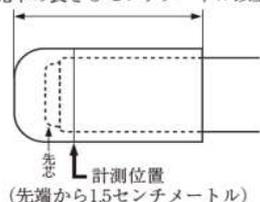
表2 竹刀の基準 (二刀の場合)

対 象		大学生・一般	
		大 刀	小 刀
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下
重さ	男 性	440グラム以上	280～300グラム
	女 性	400グラム以上	250～280グラム
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>

